

被災した建築物からの 石綿(アスベスト)にご注意ください！

戸建て住宅には石綿が含まれる建材が使用されている場合があります、家屋の片付けの際に**石綿を吸い込むと健康被害が生じるおそれがあります**。石綿を吸い込まないように注意して作業をしてください。(注意事項は裏面参照)

石綿(アスベスト)は、天然の繊維状鉱物で、吸引するとじん肺や肺がんなどの原因になるとされ、現在は製造・輸入・使用などが禁止されていますが、平成18年(2006年)9月以前に建てられた建物には、使用されている可能性があります。

戸建て住宅の石綿含有建材の例



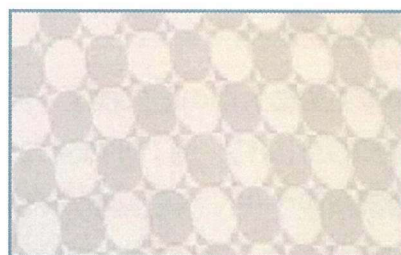
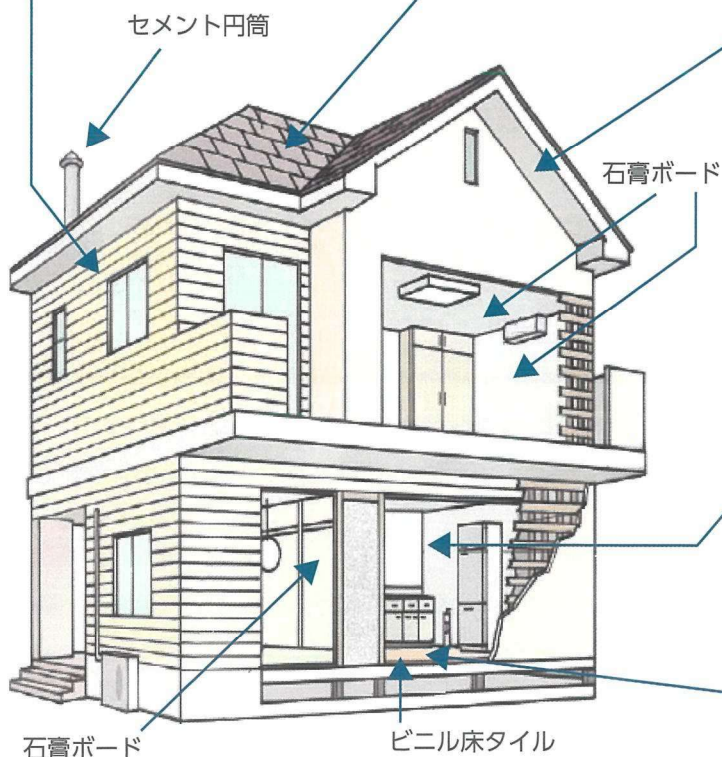
窯業系サイディング



住宅屋根用化粧スレート



けい酸カルシウム板第1種



壁紙



ビニル床シート

被災現場で作業を行う住民・災害ボランティアの 皆さんは、次のことを守るようにしてください。

作業時には、**防じんマスク**（N95等の規格適合品）
を**正しく着用**する。



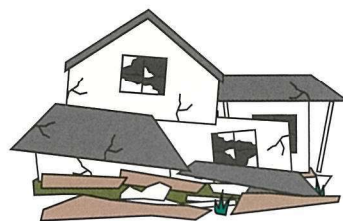
石綿が飛散しないよう、石綿含有建材を
片付け、処分する際には、**散水**等により
湿らせる。



ハンマーでの**破砕**やカッターでの**切断**など、
粉じんを発生させる作業は行わない。



倒壊した建物や解体現場には、
むやみに近づかない。



正しく防じんマスクを装着しましょう

適切な性能を有する防じんマスクを使いましょう

以下のいずれか一つ以上の合格・認定を受けた防じん
マスクを使いましょう。

- 厚生労働大臣の型式検定／例：DS2マスク等
- NIOSH規格／例：N95マスク等
- 欧州規格(EN149)／例：FFP2マスク等

間違った防じんマスクのつけ方に注意しましょう

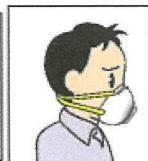
（使い捨て式防じんマスクについて『悪い例』の紹介）



しめひもが片側
はずれている



マスクが
上下逆さま



しめひもが首元
で2本がけに
なっている



しめひもを加
工して耳かけ
式にしている

防じんマスクをつけた時の注意点について

しっかりと顔に密着させましょう

- マスクの変形・破損が無いことを確認した上で
取扱説明書に従って装着を行う。
- しめひも調節が行えるものは、必ず適切な長さ
に調節する。

顔に密着しているか確認しましょう

- 取扱説明書に従って使用のたびに必ず顔に密着
しているか確認しましょう。
- もし、漏れ込みが感じられた場合は
 - ①マスクの位置を調節する
 - ②しめひもの長さを調節する 等を行って再度確認してください

※注意事項

- ・防じんマスクの規格は性能に応じた種類がありますので作業内容に応じた防じんマスクを選択してください。
- ・酸素濃度18%未満の作業環境では絶対に使用しないでください。
- ・使用中にマスクが損傷したり、呼吸が苦しくなったり等の場合には速やかに安全な場所に移動してください。

資料出典：(財)日本保安用品協会
日本呼吸用保護具工業会
スリーエムヘルスケア(株)